

100年後も地球と生きる

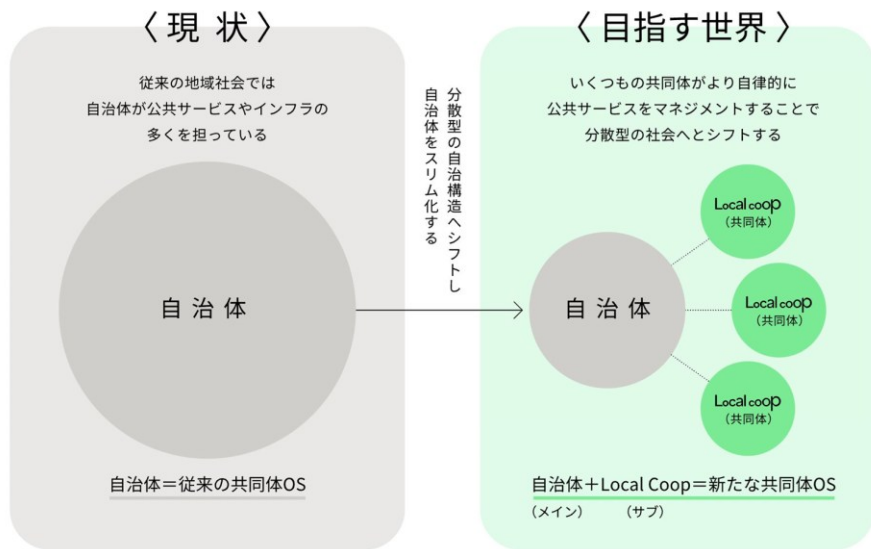
paramitaは、人口減少社会と気候変動の時代を生き延びるために、
「自然が再生し続ける世界」と「地域経済が持続する未来」を両立させます。

個人、企業、自治体、研究者、アーティストなど多様な主体が交わり、
生命(いのち)を中心に据えた関係性をデザインすることが私たちの役割です。
無目的な利便性の向上や単なる経済合理性の追求ではなく、
身近な暮らしの課題から地球規模の問題までを結びつけ、
何かを犠牲にすることなく連鎖的に解決していく共創のプラットフォームとなります。

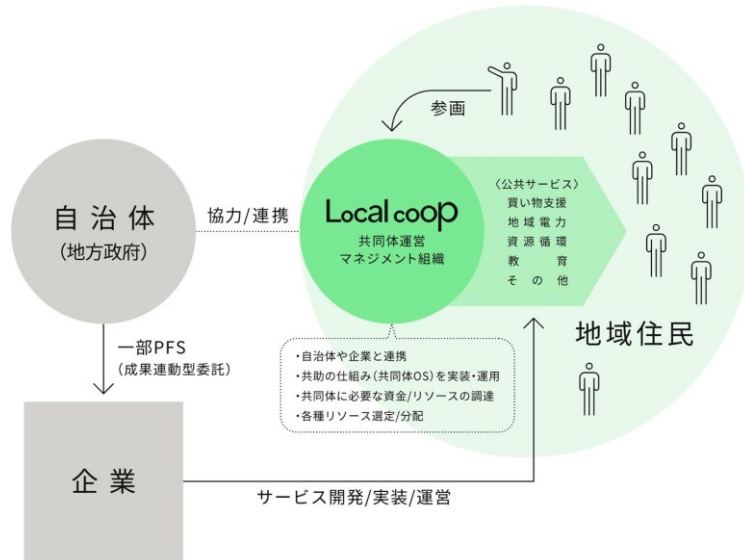
■ paramitaはLocal Coopという社会OSの導入を推進

人口減少下における**第二の自治体**として、外部の企業／個人の関与を広げながら、住民共助による新しい自治をつくる。それを通じて、地域の**インフラを持続可能**にし、地域の**自然や文化を再生可能**にする取組。

〈現状〉から〈目指す世界〉へ



Local Coopによる共同体運営



■ Local Coop構想を実装している4つのフィールド

4つのフィールドでは、自治体・住民との連携を密にし、住民自治による過疎地の持続可能性に挑戦している。



Near Threatened
Japanese newt

尾鷲

人工林での生物多様性回復



奄美

耕作放棄地の再生（水路）



尾鷲

流域全体をフィールドとした
子供の学びの場づくり



尾鷲

2年間でのべ1100人がWS参加



浜松

地域資源を利用した堆肥作り



浜松

完熟堆肥利用での
農作物食べ比べ



■ 企業との連携により都市部の消費活動が地域の一次産業の未来へ

事例1 | サカイ引越センター × paramita



- ・ 引越し料金に +1,000円
- ・ 年間4.5万件が申込
- ・ 全引越しの7%が選択
- ・ 森林整備・生物多様性回復へ還流

🌿 都市の引越し → 森づくりへ

事例2 | JALショッピング × paramita



- ・ 商品価格に +500円
- ・ 収益の一部が地域の森づくりへ
- ・ 消費者は環境貢献を身近に実感

🛒 いつもの買い物 → 地域の森林再生へ

一次産業への資金還流

🌲 林業

- ・ 森林整備
- ・ 生物多様性回復
- ・ 流域保全・地域教育

サカイ引越センター、JALショッピング、JR東海、小田急電鉄 と連携

🌱 農業

- ・ 耕作放棄地の再生
- ・ 農業従事者の育成
- ・ 持続可能な農業づくり

外食事業者A と連携

🐟 漁業

- ・ 藻場の再生
- ・ 養殖業DX
- ・ 海の生態系回復

外食事業者B と連携

大企業にとっても経済性・長期価値向上に寄与し、ウォッシュにならない事業設計を支援

■ 共創/事業開発を実践できるフィールドでコンソーシアム運営



100年後も地球と生きる未来へ

一次産業の未来に資する
新しい仕組みを共に創りませんか

paramita